

科目名	臨床評価学実習（理学療法）	担当教員	隈元 庸夫※ 伊藤 俊一※ 信太 雅洋※ 小林 巧※ 山中 正紀※ 小塚 直樹※ 久保田 健太※ 世古 俊明※ 森野 陽※ 佐藤 公博※ 伊藤 俊輔※ 小川 峻一※ 野陳 佳織※ ※印は実務経験のある教員を示す。
-----	---------------	------	---

開 講 専 攻	分 野	種 別	配当年次	開講時期	単位数	授業形態
理学療法学専攻	専門科目	選択	3年次	前期	4単位	実習
ナンバリングコード	卒業認定・学位授与の方針と当該授業科目の関連					
HR31F	①、②、③、④					

科 目 概 要	評価学実習では、実習施設において臨床実習指導者のもと、対象者に対する理学療法評価の計画、実施、その結果の解釈という一連の過程を実習する。①必要な情報収集、面接および検査測定を選択して実施すること、②評価手段によって得られた結果を個々に分析すること、③その結果を解釈すること、④評価過程を適切に記録し、報告することが目標となる。さらにこの過程を通じて、対象者の障害を把握する科学的な観察力や思考力も養う。
学 習 目 標	① 必要な情報収集、面接および検査測定を選択して実施する。 ② 評価手段によって得られた結果を個々に分析する。 ③ 分析結果をもとに統合解釈を経験して評価の意義を理解する。 ④ 評価過程を適切に記録し、報告する。

回	項 目	主 な 学 習 内 容	到 達 目 標	実務経験 教員担当 項 目
1	臨床実習 1	実習施設における実習（第 1 週）	上記学習目標①～④	担当教員 全員
2	臨床実習 2	実習施設における実習（第 2 週）	〃	担当教員 全員
3	臨床実習 3	実習施設における実習（第 3 週）	〃	担当教員 全員
4	臨床実習 4	実習施設における実習（第 4 週）	〃	担当教員 全員
評価方法		臨床評価学実習評価表、実習報告会の内容を総合して判定する。		
課題に対するフィードバック		実習報告会を通してフィードバックする。		
教科図書		特に指定しない。		
参考図書		特に指定しない。		
学習の準備		1 臨床評価学実習に臨むにあたって、これまでの学習内容をできる限り理解しておくこと 2 実習後は、実習で学んだことを整理しておくこと		

オフィスアワー	月曜日 13:00～14:30、その他各担当教員から連絡する。
担当教員欄に※印を 附した教員の実務経 験	病院・施設において、臨床実習担当の指導・監督の下、理学療法の実務を見学・体験させる。